

【「選ばれる京築の米づくり」の目標】

- ①種子更新100%(購入種子もしくは購入苗)
- ②生育に応じた適正な水管理
- ③病害虫防除徹底
  - ※イネカメムシの被害により品質、収量低下が拡大しています。防除を徹底しましょう。
- ④乾燥調製後の適正玄米水分14~15%の確保

【各品種の平坦地における生育の目安及び特性】

品 種	田植時期	出穂期	成熟期	倒伏	いもち	穂発芽
夢つくし	6/5~15	8/6~9	9/10~15	中	弱	難
元気つくし	6/10~20	8/15~19	9/22~27	やや弱	弱	難
ヒノヒカリ	6/15~25	8/24~28	10/4~9	やや弱	やや弱	難
ヒヨクモチ	6/20~30	9/6~9	10/26~31	極強	やや弱	難

この栽培層はJA米の生産基準を兼ねています。生産履歴を必ず記載し出荷時に提出しましょう。

農薬散布時には使用基準を遵守し、周辺作物への飛散にも注意しましょう!!

月 別	6			7			8			9			10																	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下															
水管理	浅水たん水			中干し 強度な中干しは避ける 7~10日程度行う (20本/株)			間断かん水			落水 (落水の目安は収穫1週間前)																				
田植後 出穂前	0日 +10日 +20日			+35日前後			-20日 -10日 0日 +10日 +20日			+34日																				
生 育	田植			分けつの確保			穂肥			出穂			成熟																	
防除例	○箱施薬 (下表参照) ○ジャンボタニシ (スクミリンゴガイ) スクミリン 1~4kg			○箱施薬 (下表参照) ○ジャンボタニシ (スクミリンゴガイ) スクミリン 1~4kg			○箱施薬 (下表参照) ○ジャンボタニシ (スクミリンゴガイ) スクミリン 1~4kg			○箱施薬 (下表参照) ○ジャンボタニシ (スクミリンゴガイ) スクミリン 1~4kg			○箱施薬 (下表参照) ○ジャンボタニシ (スクミリンゴガイ) スクミリン 1~4kg																	
	○箱施薬 (下表参照) スクミリン 1~4kg			○箱施薬 (下表参照) スクミリン 1~4kg			○箱施薬 (下表参照) スクミリン 1~4kg			○箱施薬 (下表参照) スクミリン 1~4kg			○箱施薬 (下表参照) スクミリン 1~4kg																	
水管理	浅水たん水			中干し 強度な中干しは避ける 7~10日程度行う (20本/株)			間断かん水			落水 (落水の目安は収穫1週間前)																				
田植後 出穂前	0日 +10日 +20日			+35~40日前後			-20日 -10日 0日 +10日 +20日			+38日 +40日																				
生 育	田植			分けつの確保			元気つくし 穂肥			元気つくし 出穂			元気つくし 成熟																	
防除例	○箱施薬 (下表参照) スクミリン 1~4kg			○箱施薬 (下表参照) スクミリン 1~4kg			○箱施薬 (下表参照) スクミリン 1~4kg			○箱施薬 (下表参照) スクミリン 1~4kg			○箱施薬 (下表参照) スクミリン 1~4kg																	
	○箱施薬 (下表参照) スクミリン 1~4kg			○箱施薬 (下表参照) スクミリン 1~4kg			○箱施薬 (下表参照) スクミリン 1~4kg			○箱施薬 (下表参照) スクミリン 1~4kg			○箱施薬 (下表参照) スクミリン 1~4kg																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">粉 剤</th> <th>出穂期</th> <th>出穂7日後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粉 剤</td> <td>ノンプラストレバリダ粉剤DL 4kg</td> <td>出穂期</td> <td>出穂7日後</td> </tr> <tr> <td>粒 剤</td> <td>ゴウケツモンスター粒剤 3kg</td> <td>出穂2週間前</td> <td>出穂期</td> </tr> <tr> <td>粒 剤</td> <td>スタークル豆つぶ 250g</td> <td>出穂期</td> <td>出穂期</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 農薬使用については蜜蜂の影響を考慮し適時適切な防除を心掛けて下さい。</p>															粉 剤		出穂期	出穂7日後	粉 剤	ノンプラストレバリダ粉剤DL 4kg	出穂期	出穂7日後	粒 剤	ゴウケツモンスター粒剤 3kg	出穂2週間前	出穂期	粒 剤	スタークル豆つぶ 250g	出穂期	出穂期
粉 剤		出穂期	出穂7日後																											
粉 剤	ノンプラストレバリダ粉剤DL 4kg	出穂期	出穂7日後																											
粒 剤	ゴウケツモンスター粒剤 3kg	出穂2週間前	出穂期																											
粒 剤	スタークル豆つぶ 250g	出穂期	出穂期																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>1等</th> <th>2等</th> <th>3等</th> <th>規格外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>玄米1,000粒中の 斑点米粒数</td> <td>1粒以下</td> <td>2~3粒</td> <td>4~7粒</td> <td>8粒以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※カメムシを出穂期以降ほ場で見かけたら直ちに防除しましょう</p>															等級	1等	2等	3等	規格外	玄米1,000粒中の 斑点米粒数	1粒以下	2~3粒	4~7粒	8粒以上						
等級	1等	2等	3等	規格外																										
玄米1,000粒中の 斑点米粒数	1粒以下	2~3粒	4~7粒	8粒以上																										

箱施薬の使用基準

箱施薬の効果を最大限に活かす為に、1箱当たり50gをムラなく確実に散布しましょう。(少ないと効果が薄れる)

薬 剤 名	対象病害虫	施用時期	施用量
フルスロトル箱粒剤	ウンカ類・いもち病・紋枯病	は種時(覆土前)~移植当日	1箱当たり50g
防人箱粒剤	ウンカ類・いもち病	は種時(覆土前)~移植当日	

LINEのお友達登録で  
栽培管理情報が届きます。



施肥基準 (10a当たり)

項目	基肥 (側条施肥)		穂 肥		一発施肥	
	品種	ベスト444 (14-14-14)	品種	ベスト444 (14-14-14)	Jコート2000(15kg袋) (20-10-10)	
夢つくし	30kg	15kg	夢つくし	20kg	側条施肥35kg 全層施肥40kg 砂地土壌、漏水田では、 1割程度増肥しましょう	
元気つくし	35kg	20kg	元気つくし	20kg		
ヒノヒカリ	35kg	20kg	ヒノヒカリ	20kg		
ヒヨクモチ	40kg	1回目20kg 2回目10kg	ヒヨクモチ	20kg		

- 注)①大豆跡では、基肥を50%減肥し、一発肥料は使わないようにしましょう。
- ②レンゲ跡では、レンゲの生育に応じて基肥を減肥し、一発肥料は使わないようにしましょう。
- ③近年、高温が続いて一発肥料の早効きが懸念されています。場合によっては、追肥が必要になります。

初期除草剤使用基準 (10a当たり)

注)同一除草剤の連年使用は抵抗性雑草の発生原因となるので定期的に薬剤を切替しましょう。

粒 剤		フロアブル剤		投込み剤	
エンペラー1キロ粒剤 移植時~ノビエ3.0葉期まで(但し収穫60日前まで)	1キロ	エンペラーフロアブル 移植時~ノビエ3.0葉期まで(但し移植後30日まで)	500ml	エンペラージャンボ 移植直後~ノビエ3.0葉期まで(但し移植後30日まで)	1袋 (10個)
ウィニングラン1キロ粒剤 移植時~ノビエ2.5葉期まで(但し移植後30日まで)	1キロ	ウィニングランフロアブル 移植時~ノビエ2.5葉期まで(但し移植後30日まで)	500ml	ウィニングランジャンボ 移植直後~ノビエ2.5葉期まで(但し移植後30日まで)	1袋 (10個)

除草剤使用上の注意点

- ①極端な浅植え及び植付不良で根が田面に露出している水田では薬害が出やすいので、注意しましょう。
- ②田面が露出しないよう湛水し(5cm程度)、散布後7日間は落水やかけ流ししないようにしましょう。

中後期除草剤 (10a当たり)

上記除草剤を散布後、雑草が残った場合、下記除草剤を使用しましょう。

注)液剤やEW剤を使う場合、水70~100ℓ/10aに希釈する。

ヒエのみ		ヒエと広葉		広葉のみ	
●クリンチャー1キロ粒剤 1kg 湿水散布	●ワイドショット1キロ粒剤 1kg 湿水散布	●レプラスジャンボ 1袋(10個)400g 湿水散布	●バサグラン粒剤 3~4kg ごく浅く湿水散布	●クリンチャーEW 100ml 落水散布	●バサグラン液剤 500~700ml 落水散布
移植後7日~ノビエ4.0葉期まで(但し収穫30日前まで)	移植後15日~ノビエ4.0葉期まで(但し収穫45日前まで)	移植後14日~ノビエ4.0葉期まで(但し収穫60日前まで)	移植後15日~収穫45日前まで	移植後20日~ノビエ6.0葉期まで(但し収穫30日前まで)	移植後15日~収穫45日前まで
●クリンチャーEW 100ml 落水散布	●クリンチャーバスマE液剤 1000ml 落水散布				
移植後20日~ノビエ6.0葉期まで(但し収穫30日前まで)	移植後15日~ノビエ5.0葉期まで(但し収穫50日前まで)				

# 2025年 土づくりごよみ

【今こそ、見直しましょう！土づくりは農家の基本です！】

【土づくり目標】

① **麦わら、稲わらは焼却せず、全量鋤込み**

☆稲わら秋耕は、メタン低減、イネカムシ防除にもつながります

② 地力向上（牛ふん堆肥 2t/10a）

③ 土壌改良材を施用

④ 作土深15cm以上を確保1～3年を目標に段階的に深く

【ケイ酸質資材投入で期待できる効果とは】

① 倒伏軽減

② 病害虫に対する抵抗性が強くなる

③ 高温時でも稲体が健全に生育する

④ 根の酸化力があがり根張りがよくなる

## 土づくり目標値

・PH : 5.5～6.0

・ケイ酸 : 15～30mg/100g

・鉄 : 1%以上

・腐植 : 3%以上

※J A全農ふくれん土壤診断センターで詳しく分析できます。

月別	9	10	10	11	2	3
散布時期	稲刈り		土改良材散布 ①		土改良材散布 ②	

※散布時期は、①10月～11月散布と②2月～3月散布どちらかで行うようにする。

注) 散布後、すぐに鋤き込める時期に行うようにしましょう。

資材名	施用量	特徴
ミネラルG	160kg/10a	地力向上、根張り向上 ↓ 相乗効果により 高温障害、倒伏軽減に期待ができる
オースターミネラル	100kg/10a	
シリカサポート1号	40～60kg/10a	

【J A米生産基準】

種子更新・農産物検査の受検・栽培履歴簿記載の3つの要件を満たしたお米をJ A米として扱います。

① 肥料・農薬生産資材は原則として、ごよみ・資材の注文書に記載されているものを使用すること。  
記載されていない資材等を使用する場合は、J Aにご相談ください。

② 適期適量施肥及び農薬の適正使用と飛散防止対策を徹底すること。

③ 適期収穫に努め、米袋で出荷する場合は表示が正しいか確認すること。

④ 栽培履歴に記入漏れや間違いがないか確認すること。

⑤ J A米とそれ以外を区別してJ Aに出荷すること。

# 育苗ごよみ

J A 福岡 京楽 京楽普及指導センター

主な作業	作業内容と留意点
------	----------

資材の準備 10a当り  
 ◎10a当り苗18～20箱 1箱当り催芽もみ160gを準備する  
 ◎培土を4袋準備する 床土3袋+かけ土1袋=20箱分  
 ◎種もみを3～3.5kg準備する 種子更新100%  
 ◎種子消毒（目安）水10ℓ テクリードCフロアブル50㎖ スミチオン乳剤10㎖  
 ※いもち病が多い場合はベンレート水和剤10g ★種もみが薬液にすべて浸っているのを確認

種子消毒  
 ◎10ℓ分の準備例 ○種子消毒の効果を高めるために、特に赤字の点に留意願います。  
 ①水10ℓにテクリードCフロアブル50㎖(よく振る)とスミチオン乳剤10㎖(量を正確に)をよく溶かし、薬液を作る  
 ・テクリードCフロアブル(200倍)+スミチオン乳剤(1000倍)  
 ・種もみと薬液の容量比は1：1以上(種もみが薬液にすべて浸っているのを確認) ※薬液の量が少ないと、効果が劣るので注意!  
 ・ベンレート水和剤を混用する場合は10g(1000倍)  
 ②種もみを消毒袋へ入れる ※種もみは、網袋に詰めすぎないようにする。  
 ③薬液に24時間浸す ・消毒袋をよくゆすり内部の気泡を除去 ※24時間浸漬中、2～3回揺せる。  
 ④種子消毒後は水洗いせずに浸漬に移る

浸 (6～7日)  
 ◎水かえは毎日行い、河川・ため池での浸漬はしない ○浸漬の間(6～7日)に積算水温が100℃になるようにする  
 ◎必ず芽出し(催芽)を行う(正しいハト胸状態下参照) ◎水温10℃以下では、浸漬を行わない

は種  
 ◎種もみは、は種ムラにならないように水切りする  
 ◎は種時にチエフアインフロアブル1000倍液を1箱当り500㎖かける  
 ◎覆土後、かん水は原則としてしないが、覆土に水分がしみ上がってこない場合はその部分のみかん水する

## ＜積重ね出芽＞



出芽  
 出芽適温は28～30℃  
 ◎1cm程度芽が伸びたら箱をひげ緑化作業を行う(積重ね3～4日後)  
 ◎十分にかん水し、種もみが見える場合は再覆土する  
 ◎寒冷紗2枚では2～4日、寒冷紗1枚では4～6日程度行う  
 ◎緑化が済んだら寒冷紗は速やかに取り除く

硬  
 ◎かん水は1日1～2回程度、土の乾きに合せて行う ○夕方のかん水は徒長しやすく、根の生育が悪くなるので行わない  
 ◎風の強い日は苗が傷みやすいので、かん水を十分に行う

## ●追肥例 色落ちした場合のみ追肥する

資材名	は種後15日頃まで	田植前日～3日前
育苗用肥料	4.4.4	5～7g/箱
		10～13g/箱

## ●田植

植付本数 3～4本 植付株数 18株/m<sup>2</sup> 坪当り60株

## ●水稲種子消毒 (20箱/10a目安)

面積	10a	30a	50a	1ha
種子(kg)	4	11	18	35
水(ℓ)	10	30	40	80
テクリードCフロアブル(㎖)	50	150	200	400
スミチオン乳剤(㎖)	10	30	40	80

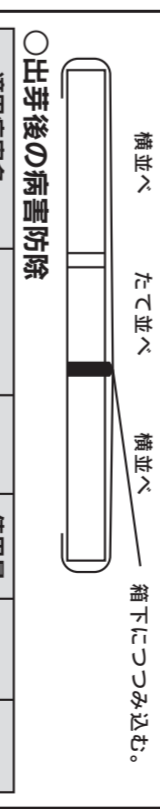
## ●育苗床土 (目安)

	20箱	50箱	100箱	200箱
培土(kg) 1箱当り約4kg	80	200	400	800
みのリエース(20kg)	4	10	20	40

うまい米、選ばれる米づくりは、まず健苗育成から！

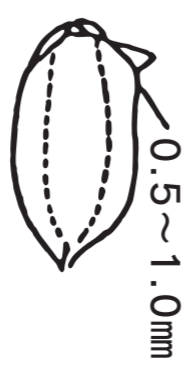
## ＜太陽シート使用例＞

①箱下は、排水を確保し、なるべく空き間をあけない  
 ②必ず水平に箱を置く  
 ③太陽シートをかけた後、取り除くまでにすぎま風が入ると覆土が乾燥し、出芽遅れ、根上りの原因となる  
 ④苗長4～5cmで太陽シートを取り除き、硬化作業に移る(目安は、元気づくし5～7日後、その他6～8日後)  
 ⑤太陽シートは3年で更新  
 (太陽シート170cm巾の場合)  
 箱を入れて傾斜をつけ、ベタかけとする。  
 横並べ 横並べ  
 たて並べ 横並べ

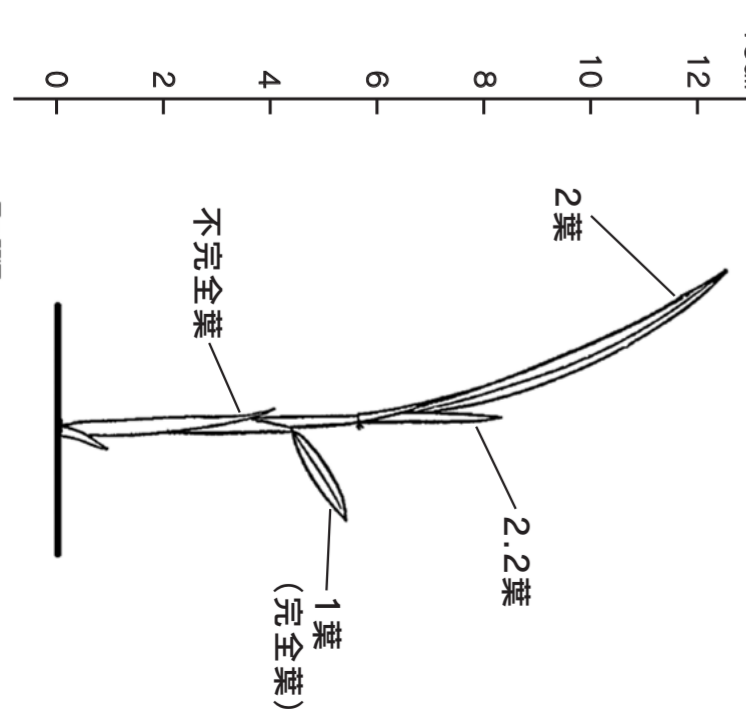


出芽後の病害防除	適用病害名	薬剤名	希釈倍率	使用量	使用方法	使用時期	使用回数
又は、使用目的	苗立枯病(ビシムム)	チエフアインフロアブル	1000～2000倍	育苗箱1箱当り500㎖	は種時から硬化2回以内		
	ハト胸防止						
	根の生育促進						
	移植後の活着促進						

## 正しいハト胸状態



## 稚苗



水稲の栽培記録簿の記帳を!!



米産大百の栽培管理情報が掲載されます。LINEにお友達登録しましょう。

(R6.11作成)